

2024年5月期 第1四半期
決算説明資料

2023年10月5日

✓ 2024年5月期 第1四半期実績 前年同期比 増収増益

■ 売上高は約9億円増収

国内建設市場などの影響を受けた販売量減少や、アルミ地金市況に連動した売上が減少したものの、政府補助金によるリフォーム需要の増加や商業施設事業での販売額増加などにより増収。

■ 営業利益は約16億円増益

エネルギーおよび諸資材価格の上昇影響を受けたものの、価格改定や国際事業の黒字化により増益。

業績結果

(億円)

	2024/5期 1Q実績	2023/5期 1Q実績	前年同期比	
			増減額	%
売上高	884	875	+9	+ 1.1%
営業利益	6	▲ 9	+16	-
営業利益率	0.7%	▲1.1%	—	+1.8p
経常利益	10	▲ 7	+18	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6	▲ 10	+16	-

※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示

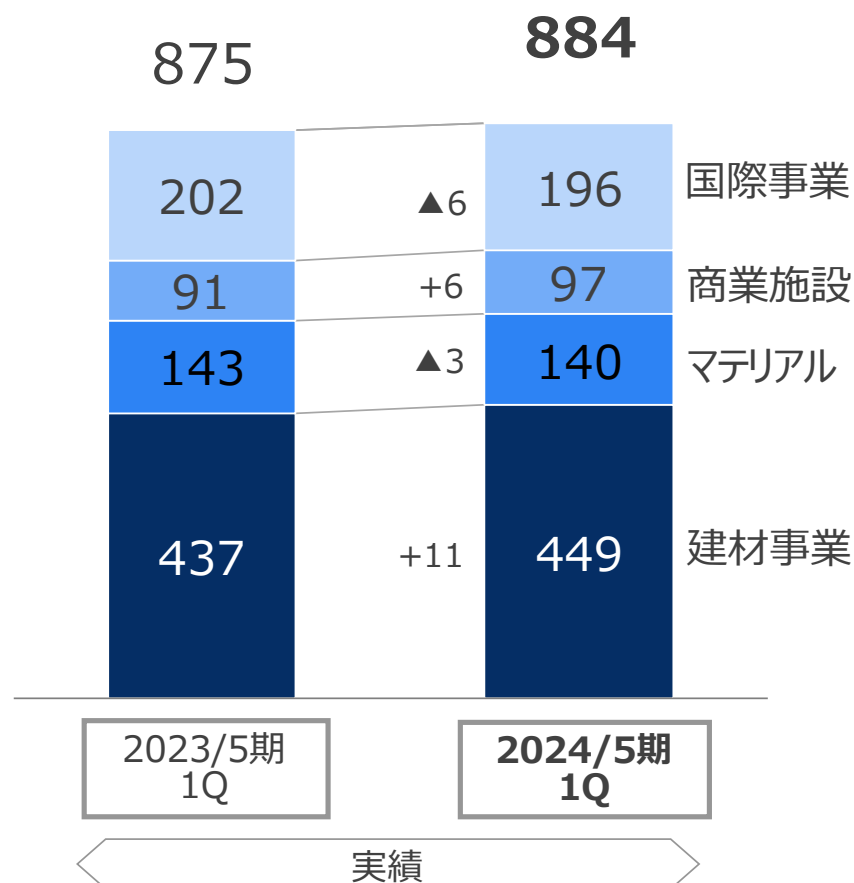
《今後の見通し》

国内住宅市場の低迷や、欧州ではドイツなどでの景気停滞影響により不透明な状況が継続。

売上高

884 億円

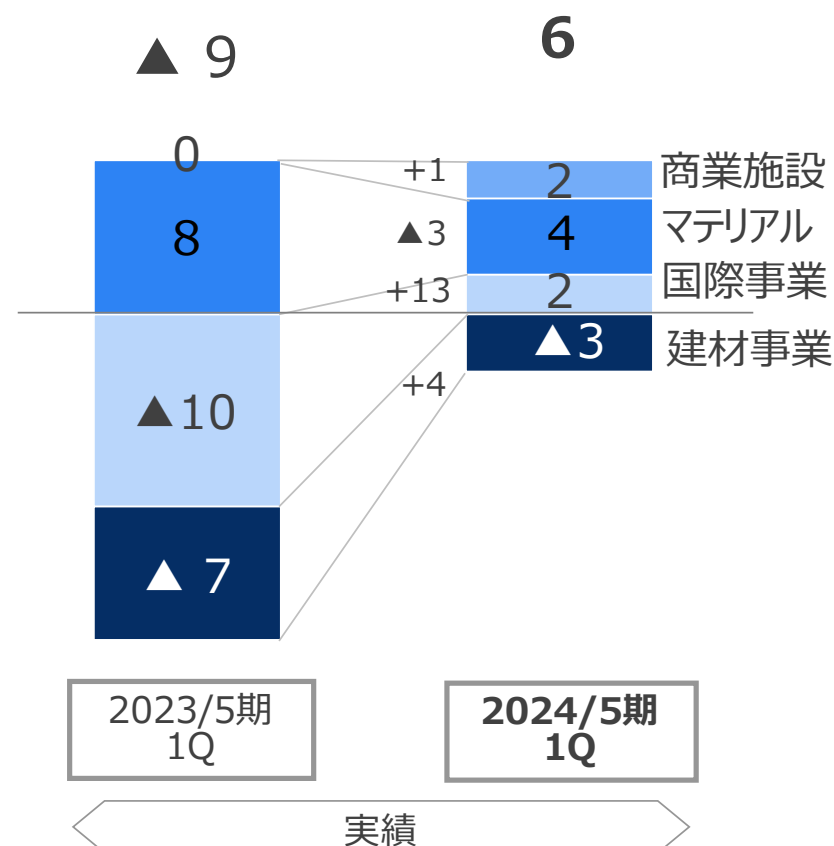
前年同期比 + 9 億円
(+ 1.1%)



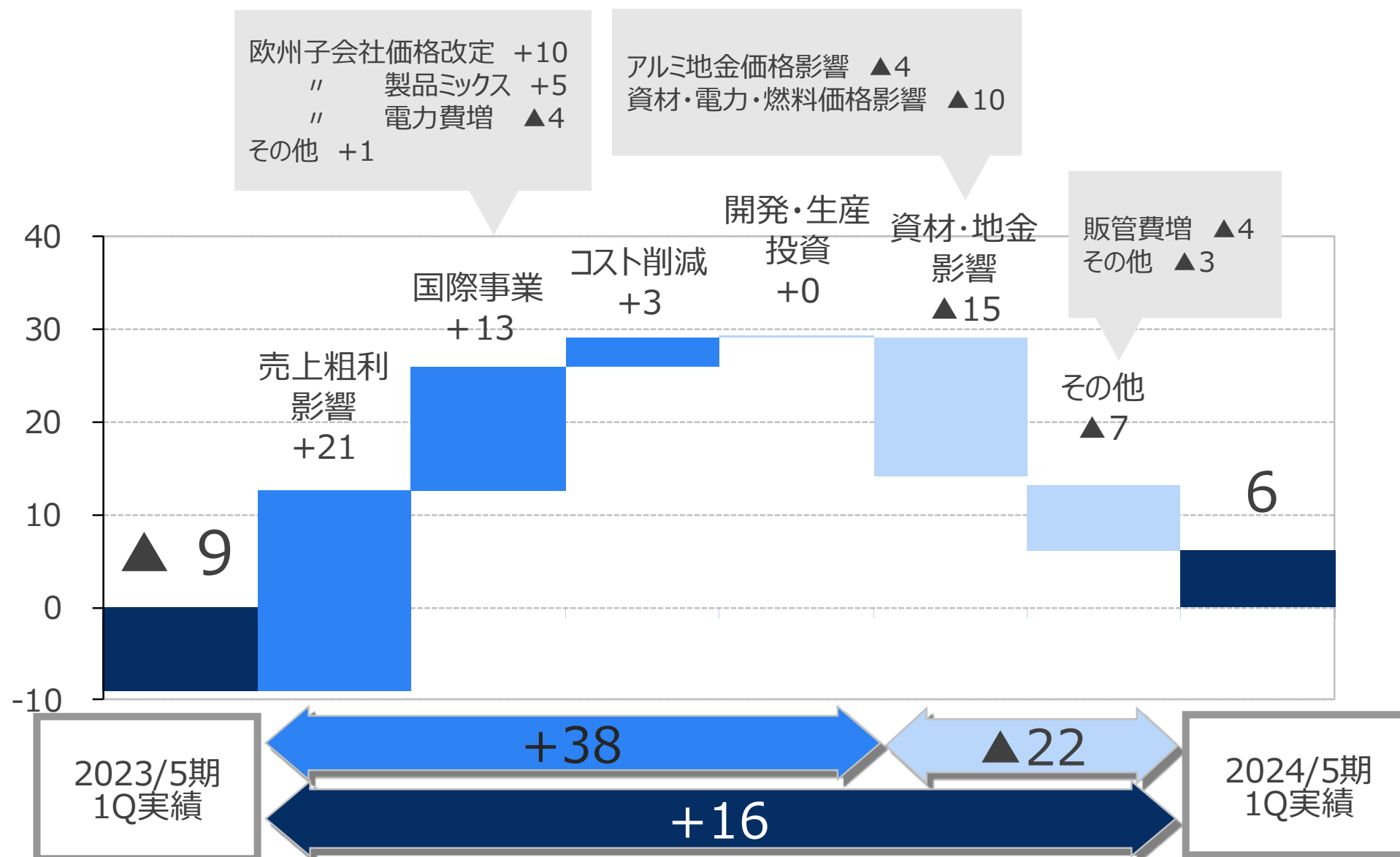
営業利益

6 億円

前年同期比 + 16 億円



※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示



※国際事業に係る利益増減については、「国際事業」に集約
※金額は億円未満切り捨て表示

人工木デッキ「ヴィラウッド」 「第17回キッズデザイン賞」を受賞

(主催：キッズデザイン協議会、後援：経済産業省、内閣府、消費者庁、こども家庭庁)



【受賞部門】 子どもたちを産み育てやすいデザイン部門

人工木デッキ

 **VILLAWOOD** ヴィラウッド

◆商品概要

人工木デッキ「ヴィラウッド」は、天然木の木肌・色合いを再現し、天然木より優れた耐久性をもつデッキです。育児や家事に追われる中で、安心して子どもと向き合える環境を目指し、太陽の下で子どもが遊べるように、デッキ表面の温度上昇や静電気の発生を独自の素材配合技術により軽減しました。あわせて安全に庭へ移動できるように段差が小さいデッキ構造を開発しました。



●ニュースリリース（キッズデザイン賞）➡ <https://alumi.st-grp.co.jp/news/2023news/sa20230823.html>

●ニュースリリース（ヴィラウッド）➡ <https://alumi.st-grp.co.jp/news/2023news/ex20230822.html>



2024年5月期 第1四半期（2023年6月～2023年8月）商品リリース一覧

2023年6月

建材事業

カーポート「FⅡ」（エフツー） 発売

2023年8月

建材事業

防水自動ドア「エスティマ」 発売

建材事業

人工木デッキ「ヴィラウッド」 発売

建材事業

大型伸縮門扉「アルテンダ」シリーズにブラック色 発売

商業施設事業

キャッシュトレー「抗ウイルスカルトン」 発売

SIAA
ISO 21702
抗ウイルス加工
無機系・練込
本体
JP0612884X0002M



キャッシュトレー「抗ウイルスカルトン」



カーポート「FⅡ（エフツー）」



防水自動ドア「エスティマ」

●ニュースリリース（建材事業／三協アルミ社）➡ <https://alumi.st-grp.co.jp/news/2023news/news2023.html>

●ニュースリリース（商業施設事業／タテヤマアドバンス社）➡ <https://advance.st-grp.co.jp/news/>



	対象期間	2021年	2022年	2023年
【建材事業（住宅）指標】 新設住宅着工戸数	4月-6月	22.1万戸 (8.3%増)	21.8万戸 (1.3%減)	20.8万戸 (4.7%減)
新設住宅着工戸数[持家]	4月-6月	7.2万戸 (11.7%増)	6.6万戸 (8.9%減)	5.8万戸 (11.8%減)
新設住宅着工戸数[貸家]	4月-6月	8.4万戸 (10.6%増)	8.6万戸 (2.5%増)	8.7万戸 (2.0%増)
【建材事業（ビル）指標】 非木造建築物着工床面積	4月-6月	18.1百万㎡ (5.7%増)	19.3百万㎡ (6.3%増)	16.7百万㎡ (13.5%減)
【マテリアル事業指標】 アルミ型材押出重量[サッシ・ドア除く]	6月-8月	8.9万 t (24.2%増)	7.7万 t (13.3%減)	8.8万 t (14.6%増)
【商業施設事業指標】 建築着工棟数[店舗]	4月-6月	1,416棟 (12.5%増)	1,612棟 (13.8%増)	1,408棟 (12.7%減)
【国際事業指標】 ドイツ自動車生産台数	4月-6月	79.7万台 (67.8%増)	85.1万台 (6.7%増)	107.8万台 (26.7%増)
タイ自動車生産台数	4月-6月	37.9万台 (148.5%増)	39.0万台 (3.0%増)	41.4万台 (6.1%増)
【アルミ地金価格平均値】 [日本経済新聞より]	6月-8月	342.4円/kg	410.2円/kg	379.3円/kg

() は前年同期比

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3ヵ月実績				実績累計			
	'23/5期	'24/5期	増減		'23/5期	'24/5期	増減	
1Q	437	449	+11	+2.7%				
2Q								
3Q								
4Q								
'24/5期 通期計画						1,900		

- 価格改定の効果
- 政府主体の先進的窓リノベ事業などの大型支援制度によるリフォーム需要の増加

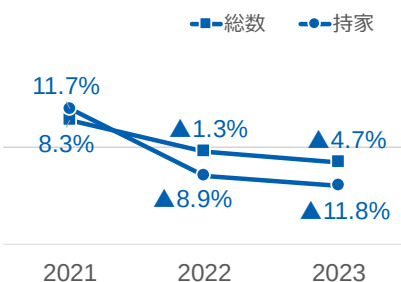
セグメント利益

	3ヵ月実績				実績累計			
	'23/5期	'24/5期	増減		'23/5期	'24/5期	増減	
1Q	▲ 7	▲ 3	+4	-				
2Q								
3Q								
4Q								
'24/5期 通期計画						17		

- 価格改定を含めた収益改善施策の効果
- エネルギーや諸資材価格の上昇影響
- 住宅着工戸数の低迷による販売量の減少

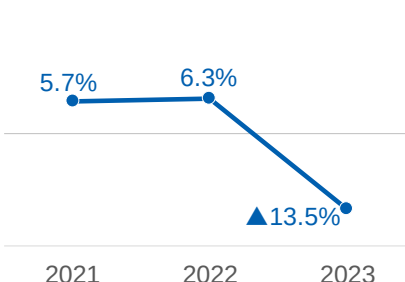
事業環境

新設住宅着工戸数
(前年同期比)



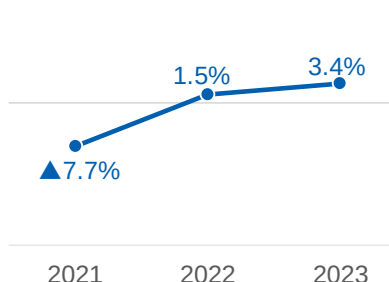
出典：国土交通省 建築着工統計調査報告

非木造建築物着工床面積
(前年同期比)



出典：国土交通省 建築着工統計調査報告

ビル用アルミサッシ販売重量
(前年同期比)

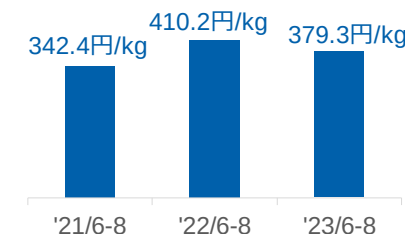


出典：経済産業省 生産動態統計

アルミ地金価格[日経平均] (前年同期比)

※4~6月
累計

※6~8月
3ヵ月平均



出典：日本経済新聞

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3ヵ月実績				実績累計			
	'23/5期	'24/5期	増減		'23/5期	'24/5期	増減	
1Q	143	140	▲3	▲2.1%				
2Q								
3Q								
4Q								
'24/5期 通期計画						610		

- 輸送分野の需要が増加したものの、建材分野での需要低迷など

セグメント利益

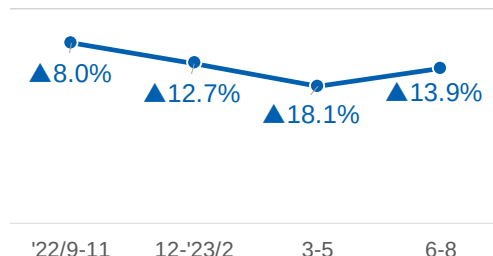
	3ヵ月実績				実績累計			
	'23/5期	'24/5期	増減		'23/5期	'24/5期	増減	
1Q	8	4	▲3	▲44.4%				
2Q								
3Q								
4Q								
'24/5期 通期計画						29		

- 収益改善施策の効果があつたが、販売構成の変化や操業度低下の影響など

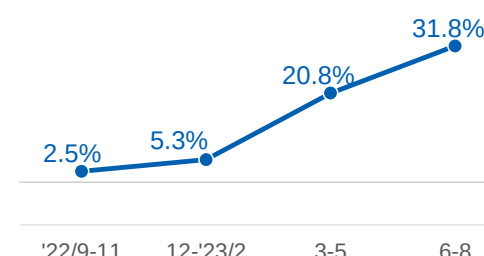
事業環境

国内アルミ型材押出重量（前年同期比）

<一般機械>



<自動車>



出典：日本アルミニウム協会統計

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3ヵ月実績				実績累計			
	'23/5期	'24/5期	増減		'23/5期	'24/5期	増減	
1Q	91	97	+6	+7.2%				
2Q								
3Q								
4Q								
'24/5期 通期計画						395		

- 投資意欲が旺盛な業態を中心に店舗の新規出店や改装の需要を取り込んだこと

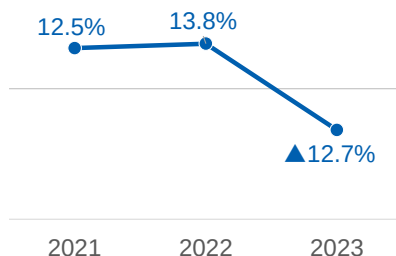
セグメント利益

	3ヵ月実績				実績累計			
	'23/5期	'24/5期	増減		'23/5期	'24/5期	増減	
1Q	0	2	+1	+326.4%				
2Q								
3Q								
4Q								
'24/5期 通期計画						11		

- 売上の増加
- 価格改定を含めた収益改善施策の効果

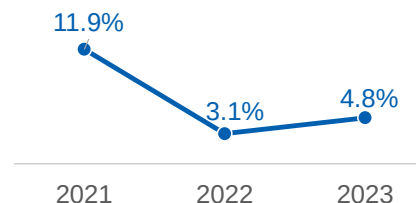
事業環境

建築着工棟数[店舗]（前年同期比）



出典：国土交通省 建築着工統計調査報告

小売業販売額（前年同期比）



出典：経済産業省 商業動態統計調査

※4～6月累計

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

	3ヵ月実績				実績累計			
	'23/5期	'24/5期	増減		'23/5期	'24/5期	増減	
1Q	202	196	▲6	▲3.0%				
2Q								
3Q								
4Q								
'24/5期 通期計画						840		

- 為替影響により増収効果はあったものの、アルミ地金市況に連動する売上が減少したこと
- 欧州の自動車生産台数が低下傾向であること

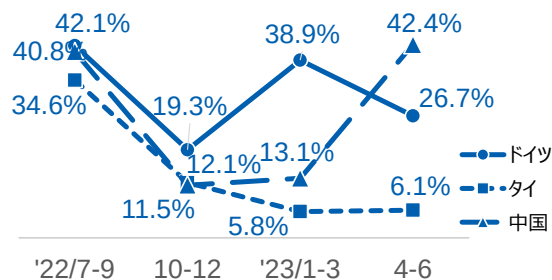
セグメント利益

	3ヵ月実績				実績累計			
	'23/5期	'24/5期	増減		'23/5期	'24/5期	増減	
1Q	▲ 10	2	+13	-				
2Q								
3Q								
4Q								
'24/5期 通期計画						3		

- 欧州子会社でのエネルギーや諸資材価格の上昇に対する価格転嫁の効果

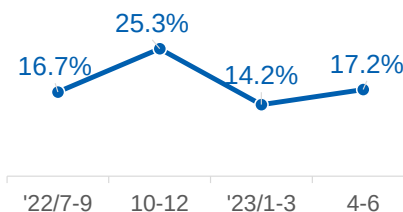
事業環境

自動車生産台数（前年同期比）



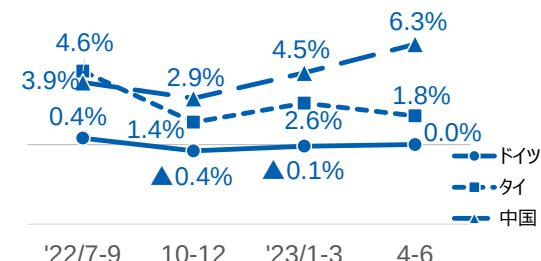
出典：VDA MARKLINES

ドイツEV自動車販売台数シェア



出典：KBA（ドイツ連邦陸運局）

GDP（国内総生産）（前年同期比）



出典：EUROSTAT, NESDC, CEIC

計画前提・実績

		期中 平均値	2023/5期 1Q実績	2024/5期 前提 (通期)	2024/5期 1Q実績
アルミ地金価格 (日本経済新聞)		6～8月	410.2円/kg	375.0円/kg	379.3円/kg
為替	ドル	4～6月	129.7円	135.0円	137.5円
	ユーロ	4～6月	138.2円	140.0円	149.6円
	バーツ	4～6月	3.8円	3.8円	4.0円
	元	4～6月	19.6円	19.5円	19.6円

サステナビリティビジョン2050

Life with Green Technology

～「環境技術でひらく、持続可能で豊かな暮らし」を実現する企業グループへ～

カーボンニュートラルへの挑戦

事業活動に伴う温室効果ガス排出削減と、環境技術で創出する商品・サービスによる温室効果ガス排出削減貢献とのバランスにより、カーボンニュートラルを目指します。

資源の循環

循環型社会の実現に向けて、主要原材料の循環使用の促進と、廃棄物の再資源化を推進します。

人財を未来へつなぐ

多様性や人権を尊重し人材育成を推進することで活力ある企業風土を創生し、豊かな暮らしを実現する原動力となる「人財」を未来につないでいきます。

2030年度目標

温室効果ガス排出量

50%減

対象：三協立山グループ Scope1+2※
(2017年度比)

循環アルミの
使用を促進

女性管理職比率

10%

※Scope1：自社での燃料の使用に伴う直接排出 Scope2：自社が購入した熱・電力の使用に伴う間接排出

E 環境



S 社会



G ガバナンス



■ 本資料に関する注意事項

本資料に記載されている内容には、三協立山株式会社および連結子会社（以下、総称して「三協立山グループ」という）の計画、戦略、業績などの将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた三協立山グループの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しています。それらの影響により、三協立山グループの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、三協立山グループが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えるリスク、不確実性およびその他の要因としては、三協立山グループの事業領域を取り巻く経済情勢、三協立山グループの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化、為替相場、アルミ地金などの価格変動が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

本資料の複製・転載はお断りします。